

令和5年度 第3回社会貢献委員会議事録

1. 招集年月日 令和5年8月8日（火）
2. 開催日時 令和5年9月1日（金）14時00分
3. 開催場所 東北遊商会議室
4. 委員数 8名
5. 出席委員氏名 杉本信夫、大久保康二、富士原政也、大久保成志
佐々木齊、佐々木勝也
（オブザーバー 高橋一則）
6. 議長の氏名
委員長 杉本信夫（委員会設置規約第5条第4項）
7. 委員会の成立
6名出席により成立（委員会設置規約第9条）
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

第1号議案 各種会議等開催結果について

1 7月26日開催、全商協・2023年度第1回社会貢献委員会結果

大久保康二副委員長から、次のとおり説明があった。

1 副委員長の互選について

全商協・社会貢献委員会副委員長に 東遊商 専務理事 小島 利幸 が互選された。

2 現在までの社会貢献活動について

全商協・事務局から、次のとおり説明があった。

「主な活動としては、NPO 法人児童虐待防止全国ネットワークによるオレンジリボン運動への協力と公益財団法人鎮守の森のプロジェクトが主催する植樹祭等への協力である。

オレンジリボン運動については、2015年9月にオレンジリボン運動を推奨するために、地区遊商も含めて、オレンジリボンのピンバッチ購入による寄付を行うとともに、ピンバッチを付けて会議等へ参加することで、オレンジリボン運動を広めていく活動を続けている。また、一般の方々へもオレンジリボン運動を広める活動として『子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会』へ参加するなどの協力をしている。2017年からはオレンジリボンポスターコンテストへ協賛し、毎年30万円を協賛金として寄付を行い、ポスターコンテストの募集作品の中から全商協賞を選考し、作者へ表彰盾と記念品を授与している。

次に、公益財団法人鎮守の森のプロジェクトについては、2014年7月に当該団体へ寄付を行ったことをきっかけに、森の防潮堤を築くための植樹活動等へ、社会貢献委員会のメンバーを中心に、人的な協力を続けている。植樹等の場所は、東日本大震災の被災地である、宮城県や福島県を中心に、森の防潮堤を希望する県や市町村の要望を受けて

活動を続けている。ここ2,3年は被災地での植樹活動も落ち着いてきたこともあり、年2回から3回の活動を各地区遊商へご案内のみ送らせて頂き、活動への参加は各地区遊商でご判断いただいている。」

3 今後の社会貢献活動について

全商協・事務局より、次のとおり説明があった。

オレンジリボン運動について、7月30日産業貿易センターにおけるポスターコンテスト表彰式において、中村会長から今回の全商協賞の受賞者の今井和瑚さんへ、表彰盾と記念品をお渡しする予定である。全商協賞の作品ポスターは、9月下旬から10月上旬を目途に地区遊商の事務局へ送付するので、オレンジリボン運動の活動への協力のため活用願いたい。また、オレンジリボン運動の市民集会在、11月5日に東京都の銀座ブロッサムで開催予定であり、同時にLIVE配信も行う予定なので、詳細内容が決まり次第連絡する。

鎮守の森のプロジェクトの活動に関する予定については、順次情報が入り次第、各地区遊商へ案内等を送付する。

なお、地区遊商での社会貢献活動を随時、全商協事務局へ報告頂き、全商協のホームページへの掲載と、業界誌各社への情報提供を行い、広報活動を積極的に実施したいので、各地区遊商で実施した社会貢献活動で、全商協へ情報提供できる活動については、順次連絡願いたい。」

4 その他

各地区遊商ごとの今後の社会貢献活動について、情報共有のために報告願いたい旨の発言があり、次のとおり報告があった。

北海道 ～ 献血、ペットボトルキャップ回収、使用済み切手回収など

東北 ～ 植樹祭、オレンジリボングッズ購入、児童養護施設寄付、献血、広瀬川 清掃活動、海岸清掃活動など

東日本 ～ 献血、オレンジリボンマスク街頭配布、各施設寄付・車いす寄贈など

中部 ～ 献血、河川清掃活動、ペットボトルキャップ回収、使用済み切手回収など

関西 ～ 清掃活動、献血、ホール駐車場見回りなど

中国 ～ プルタブ回収活動、ホール駐車場見回り、献血、清掃活動など

四国 ～ 献血、ホール駐車場見回り、使用済み切手回収など

九州 ～ 清掃活動、献血、日本赤十字社等寄付など

大久保成志委員から、使用済み切手回収の現状について質疑があり、現状、組合事務局において保管しているものがあるものの、具体的活用等をしていないことから、今後、方法等の情報収集をしていくこととなった。

2 7月26日開催、回胴遊商東北支部との合同会議結果

杉本委員長から、次のとおり報告があった。

令和5年7月26日16時00分から、回胴遊商東北支部会議室において、高橋理事長、永山機械流通委員長、柳機械流通副委員長、杉本社会貢献委員長、大久保社会貢献副委員長（以上、東北遊商）、佐々木副理事長、鈴木支部長、最上副支部長、鈴木総務代表委員、竹内遊技機流通委員（以上、回胴遊商東北支部）が出席して行われた。

1 社会貢献活動事業について

(1) 社会貢献活動の実施状況

両組合いずれも、前回の合同会議の際に話し合った内容と同様である旨の報告がなされ、今年度もそれぞれ引き続き実施していくことが報告された。

(2) 今年度の合同活動予定

今年度は、「みやぎスマイルビーチ・プログラム」での合同活動をメイン活動として行うことを目指していたところ、認定までに2～3か月程度の期間を要する見込みであることが判明し、現時点では、具体的な活動日が見通せないことから、親睦会を伴う合同活動については、日程が決まっている秋の「広瀬川1万人プロジェクト」で行うことが確認された。

当該9月23日に合同参加する「広瀬川1万人プロジェクト」について、参加者対象者を組合員及び同販社社員（家族含む）とすること、清掃区域の第一希望を「荒浜海岸」、第二希望を「閑上海岸」とすること、当日の参加者の移動方法は貸切バス移動を基本とすること、清掃活動後に「仙台パルコ2 BBQ ビアガーデン【2時間食べ飲み放題プラン・4,500円】（80名仮予約済）」で懇親会を行うこととなり、今年度は、同じ清掃区域で活動ができるよう情報共有をしながら参加申込手続を行うことなどが確認された。

なお、「みやぎスマイルビーチプログラム」についても、認定状況を見ながら、今年度中に合同活動ができれば行っていくことが確認された。

2 中古機流通上の諸問題等

両組合の技能研修・更新研修会等の開催日程について、東北遊商は9月～10月にかけて開催されること、回胴遊商は10月以降の開催予定となるであろうこと、東北遊商においては、同研修会の試験官に、販社の中から、前年度の更新研修において、特に優秀な取扱主任者を選抜し、今年度の試験官に加えることとして養成研修を行っていることなどが、それぞれ説明された。

第2号議案 令和5年度、「広瀬川1万人プロジェクト」について

本年9月23日（土）予定の「広瀬川1万人プロジェクト」一斉清掃について詳細を審議した結果、当該清掃活動は回胴遊商との合同活動とし、活動場所は、現時点では仙台市若林区内、荒浜海岸を、当組合から40名程度の参加者を見込み予定していること、組合員、組合員販社社員及びその家族の参加を、ボランティア活動として旅費・日当・宿泊費は支給せず募ること、申込期限を9月8日（金）までとすること、社会貢献委員会委員及び事務局員は公務とし、遠方からの参加者に限って前泊の宿泊費のみを認めること、食事会は仙台市青葉区、仙台駅西口

近くの「仙台パルコ2 ”肉食べ放題” バーベキュービアガーデン」で行うこと、食事会経費は全額組合負担とすること、フェイム誌へ取材依頼すること及び当日のスケジュール概要・社会貢献委員等役割分担、全体の経費概要見込が確認された。

第3号議案 令和5年度、海岸・河川敷等清掃活動について

前回の社会貢献委員会において、活動予定日は、本年10月19日(木)とすることなどとなっていたが、諸般の事情により、日程変更の必要性が生じ、審議した結果、活動予定日は、10月10日(火)とすること、場所は、青森県浅虫温泉、サンセットビーチ浅虫とすること、青森県内所在組合員に旅費・日当等なしのボランティア参加を呼び掛けること、役員の参加確認は杉本委員長が行うこと、清掃活動終了後、第4回社会貢献委員会及び食事会を開催すること及び社会貢献委員会開催の関係もあり事務局長と総務主任が清掃活動から参加することなどとなった。

なお、清掃活動に先立ち当日午前中に訪問する児童養護施設は、青森市、藤聖母園に午前11時に、弘前市、弘前愛成園に午前10時30分に、それぞれ訪問したいこととしてアポイントメントを取ることを、訪問メンバーは、今後、決めていくことなどとなった。

第4号議案 第77回福島県社会福祉大会会長感謝状の贈呈について

杉本委員長から、本年11月17日(金)、午後2時20分から、福島県福島市飯坂町「パルセいいざか」において、当組合へ第77回福島県社会福祉大会会長感謝状の贈呈が行われるが、当該出席者について諮られ、審議の結果、杉本委員長と宍戸委員が出席することとなった。

なお、当日、フェイム誌の取材を依頼することとなった。

第5号議案 令和5年度「献血活動集計状況」について

杉本委員長から、8月31日現在、6社局20名の献血協力があったこと、本年12月ころ、再度の献血協力通知を組合員あて発出する予定であることについてについて報告があった。

第6号議案 その他

次回の第4回社会貢献委員会は、前記のとおり令和5年10月10日(火)清掃活動終了後、青森県において開催することとなった。

以上をもって、午後3時50分、委員会を終了した。